消防庁長官賞

楽しみながら学ぶ、災害に強いまちづくりを目指して

自主防災組織 ハンマーズ

▶設立年
平成26年11月

▶団体構成
会員数74人

▶所在地
東京都墨田区東向島二丁目11番13号

▶連絡先
TEL 03-5655-6542
FAX 03-5655-6541
E-mail murayama@kentiku-center.jp

▶取組開始年月
平成20年4月～

【団体概要】

自主防災組織ハンマーズは、地域の建築業等を営む会員で組織された、前身の災害時における応急対策活動チームを、東日本大震災を契機に再結成して発足されている。

ハンマーズは、地元建設産業の社会的役割とその使命を果たすため、普段仕事で使用している建築用工具であるバールやジャッキを活用した救出要領や毛布による担架作成要領、救出後の応急救護活動、スタンドパイプによる放水訓練、ロープ結索訓練や救出時における安全管理について消防署員の指導を受け、実践的な災害対応能力向上を図っている。

また、地域や町会・自治会で開催される防災訓練や防災啓発イベント、学校主催の防災訓練において、身近にあるバール等の工具による救出方法や倒壊家屋の模型を活用した救出訓練などの実践的な訓練指導を行っている。

【背景】

東日本大震災では、建設産業による、災害時の応急復旧活動から復興事業までの役割の重要性が改めて認識された。

地域の実情に精通した建設業者の会員が、災害時にいち早く現場に到着し的確に活動できるよう普段から自主的に訓練を実施するとともに消防職員による指導や各研究会等に参加し、大規模災害発災時の災害対応能力向上に努めている。

【取組の内容】

墨田区総合防災訓練や地域の防火防災訓練、学校やPTA主催の防災訓練において、バールやジャッキ等の身近な工具を活用した救出方法などを指導するほか、実際の瓦屋根等でリアルに再現した倒壊家屋をジャッキ等で持ち上げる救助方法や、救出した傷病者を物干しさおと衣類を活用した応急担架により搬送する搬送訓練要領について指導を行っている。

また、児童や生徒がジャッキの使用方法について学べる、重量物を想定したコリントゲームや、家具の転倒防止器具を学べるミニチュア家具の実験装置を製作し参加者に実体験させるなど、児童・生徒が防災について楽しみながら学べる総合防災教育を実施している。

【成果】

会員は、工具の取扱いのプロであり、本物の瓦や柱により作成したリアルな倒壊家屋を活用し、救出要領や倒壊家屋の危険要因の指導など、参加者が災害を実体験できる実践的な防災訓練が実施できている。

防災訓練等の機会を捉えて自助・共助の重要性を指導することで、木造密集地域を多く抱える墨田区において、地域防災力の向上、自助・共助の重要性の認識に繋がっている。

墨田区総合防災訓練の救助体験コーナーにおいて、参加者が楽しみながら気軽にできる防災訓練を行い、防災訓練未経験者の掘り起しを図っている。

選定委員Comment

東京の下町、墨田区の建設産業で働く約70名のプロ集団の自主防災組織。ふだん仕事で使っているバールやジャッキなどの建築用具を使った防災訓練を通して、災害時のご近所の底力を高めている。子どもたちと一緒に「楽しく気軽に学ぶ」がモットーだ。

例えば、ジャッキ体験deコリントゲーム。油圧ジャッキを使ってコリントゲームの台を上げた後、角材を台の下に差し込み、油圧ジャッキを下げて荷重を角材に移動させる。地震で倒壊した家屋の中に閉じ込められた人を助け出す訓練だが、ジャッキ体験後には、傾斜をつけて球を転がすコリントゲームに参加して景品がもらえ、楽しく学べる工夫がされている。このほか、担架搬送タイムトライアルやロープの結び方体験、非常持出し釣りゲーム、土のうづくり設置体験など自前で開発した防災訓練プログラムは10以上にのぼる。実際の瓦屋根を活用した2m四方の倒壊家屋も自分たちで制作して用意してある。土砂の入った水槽を揺らすと液状化現象が発生して家屋が傾くという模型も自前の作品である。ふだん防災倉庫に眠る道具を、遊びを通じて身近に感じて欲しいという熱い思いがこれらの開発・制作に結びついた。

開発したプログラムはそれぞれ、目的・対象者・進め方・必要とする時間と面積などをビジュアルに分かりやすく1枚のカードにまとめてある。町会や学校が少しマンネリ化している防災訓練を変えたい時、このカードの中からやってみたいプログラムを選んでハンマーズに出前をお願いすることができる。

これらの出前に応じることで、地域の人々と顔の見える関係を築けるが、技術的な信頼関係を得るには会員メンバーのスキルアップが不可欠として、消防署の協力を得て年に数回会員の研修会を開いている。防災士を取得した会員が年々増えており、今では女性会員が3割を占めている。

地域の防災と向き合う建設業界団体のトップランナーともいえる。

「倒壊家屋模型を使ってのジャッキの使い方体験」
（重量物を自分の力で持ち上げることを体験できるので子どもたちはとても喜びます）

「ジャッキ体験deコリントゲーム」
（ゲームをしたいけれども、自分でジャッキを使って台を傾けなければ出来ないので、子どもも大人も楽しくジャッキの使い方を学べます）

「家具転倒防止器具のミニチュア実験模型」
（ミニチュア家具を作って、実際に倒れる様子を実験できます）
＊台が左右前後に動くようになっています

「応急担架と搬送訓練」
（女性も積極的に参加しています。チームの活動を支えてくれている女子チームです）